

		はい	どちらともいえない	いいえ	意見	改善
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13%	88%	0%	・特に訓練室を設けていないが、各々スタッフの時間配分でリハビリを行なっている。 ・利用人数によるので布団などの配置を考えている。 ・整理整頓等でスペースの工夫を行っている。	現状と同様に利用員数によってマットやベッドの配置を工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	0%	100%	0%	・利用者の人数によって変動はあるが、徐々に充実しつつある。 ・保育士が不足気味のため、他業種のスタッフが補っている。 ・できるだけ、利用人数に合わせている。 ・訓練士、看護師は充分多めに配置されているが、保育士がもう一人ほしい。	今後も継続して募集を行い、スタッフの増員確保に努めます。
環境・体制整備	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13%	75%	13%	・ベッドを置いた時、動ける子どもさんに危険だと感じた。パギー置き場も別に作り、何もない安全なフリースペースがあればと思う。 ・脱衣所や風呂場はもう少し広くする必要がある。 ・風呂、脱衣所スペース確保、配置を工夫。 ・段差などはないようにできているが、お風呂やトイレなどスペースが狭い場合があるため、配置の工夫が必要。 ・一部されていない場所がある。 ・段差についてはスロープをつけるなど行っている。	浴室やトイレ等、スペースが狭い場合があるため、配置の工夫を行いスペースの確保を行います。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25%	75%	0%	・PDCAサイクルについて職員間で理解を深めることが必要。 ・日頃の業務で進んでいない。話し合いが必要。 ・業務内容により、できている部分とできていない部分があるので、全てにおいて改善できるよう努力する。 ・職員会議や気がついた時に意見を言い、業務改善を進めている。	PDCAサイクルについての理解が不足しているため、スタッフ間で話し合いながら理解を深めていきます。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	38%	50%	13%	・毎日の連絡帳に詳しく記載したり、個別のOZだよりを配布し、ご家族に状態を知らせ、ご家族の意見を受け入れ対応していると思います。 ・アンケートを取り、改善できる所はしている。 ・アンケートの実施 ・よく分からないが、ご家族の方々の意見や意向は聞いている様子である。 ・年に1~2回アンケートを実施。話し合いを行い、業務改善ができる所はしていく。	OZで実施されているアンケートについて全スタッフが把握できるようにしていきます。また、個別のOZだよりについては配布が遅れてしまっているため、早急に改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0%	57%	43%	・事業所のホームページを活用し、行っていく必要がある。ご家族向けの評価表についても知っておくことが必要。 ・OZだよりが夏より配布できていない。担当と別の方が作成中。 ・事業所のホームページで公開する方法をスタッフ全員が熟知し、行えるようにする。 ・今後はホームページから行う予定。	今後は定期的に評価を行い、その結果をもとに支援の質の評価及び改善点を検討していきます。また、その結果については今後インターネットを通して公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	29%	71%		第三者による外部評価は現在行っていません。今後必要に応じて取り入れていきたいと思えます。
業務改善	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	38%	13%	・スタッフ間で共有し、参加できる研修には参加している。 ・研修をした1年もあった。各職員、行きたい研修には行っている。 ・研修会の案内、費用の補助 ・様々な研修の参加を行い、研修に行ったスタッフがOZにて伝達できている。 ・設けているが機会が少ないので、今後積極的に参加するよう声かけを行う。	各職員、参加できる研修会には参加し、事業所内において伝達研修を行っています。
適切な支援の提供	9 子どもの状態や保護者のニーズ等に基づいた個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・きっちりと個別に応じた支援計画がされていると思います。 ・担当表を作り、利用者に合わせて個別に作成できている。 ・ご家族にニーズを確認してから、作成している。 ・母親に聞き取りを行い、不足がある場合追加を行い、ニーズに基づいた計画書の作成を行っている。	
	10 子どもの状態等を知るためのアセスメントシートや健康調査票などの事業所内で決められたツールはあるか	63%	38%	0%	・カルテが見にくい。見やすいよう作成中。 ・利用前に見学、体験時に聞き取りを行い、利用決定時に健康調査票の記入、提出をお願いしている。	決められたツールがあり、現在はそれを使用していますが、より見やすいものに改善しようと検討中です。
適切な支援の提供	11 様々な職種が連携して活動内容を設定しているか	100%	0%	0%	・その日の活動予定をホワイトボードに書き出し、他職種間、声かけあい、話し合いされていると思います。 ・看護師、保育士、作業療法士が協力して考えている。 ・協力してできている。 ・各職種で日々連絡を取りながら進めている。 ・看護師、保育士、作業療法士で連携して考え、行うことができている。 ・話し合いを行い、同じ活動であっても個々に合った方法で製作や運動を変えて行っている。	
	12 活動内容が固定化しないように工夫しているか	100%	0%	0%	・季節の行事を取り入れ、工夫されていると思います。 ・毎日の業務日誌や申し送りを通して、活動が固定化しないよう考えている。 ・保育士、作業療法士が主となって計画的に季節の行事を取り入れている。 ・毎年同じものにならないように工夫している。 ・保育士さんが主にやっており、毎日違う内容で行っている。 ・保育士、訓練士が協力、話し合いを行い、個々の成長に合わせた活動ができるようにしている。	
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて課題や活動内容を設定して支援しているか	67%	33%	0%	・長期休暇をまだ体験していないので分かりませんが、休日は朝から全員揃っているため、皆でする活動が充実されて、また個別に活動もされていると思います。 ・長期休暇の際は1日を通して、活動を計画、実行している。 ・保育士が工夫し、計画している。 ・利用時間、季節に合った活動を取り組んでいる。 ・初詣やプールなど、季節に合わせた、かつ休暇中ならではの活動を取り入れるようにしている。 ・平日の疲労具合に合わせて、休日は日あるのでリズムを考慮して行っている。 ・看護行為を優先して行っているため、今後は課題などを設定してみたいと思う。 ・保育士と作業療法士が相談し、活動を考えその日の利用者の体調を看護師に確認して行っている。	利用時間や季節に合わせて活動を計画し、実行しています。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性もしっかり踏まえて活動も考えられていると思います。 ・保育士を中心に活動を展開している。 ・個別と集団、ともに楽しめるようにしている。 ・個別でじっくり関わったり、他の子どもとの関わりでの遊びの取り組みを行い、社会生活を学べるようにしている。 	
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13%	88%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎などでできない時もありますが、確認、話し合いされています。 ・スタッフ全員が集まって毎日行うことは徹底できていない。どのように行っていくか工夫が必要。 ・ホワイトボードを活用して情報の共有化を図っている。 ・出てくる時と出てこない時がある。話し合いの時間を作る必要がある。 ・時間がない場合は行えない時もあるので、申し送りノートをしっかり確認すること、お風呂のスタッフにもしっかり伝達するようにする。 ・朝送迎から帰ってすぐはバタバタしているので少し落ち着いてから行っている。 	現状通り、ホワイトボードと申し送りノートを活用し、情報共有を行っていきま。また、朝礼も徹底していけるよう、工夫をしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25%	63%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了すぐに送迎に入るため、できないことがあります。 ・全員で話すことはできていない。何人かでその日の支援について振り返ることはできている。 ・出来ている時と出てこない時がある。話し合いの時間を作る必要がある。 ・送迎があり、パートスタッフは7時に帰るので、申し送りノートに必要なことは記録、または次の日に伝達しなかったスタッフへ、管理者、マネージャーにも必要に応じて報告。 	現在は申し送りノートに必要な事項を記入したり、その日行われた支援についても数人のスタッフで話すようにしています。今後は全員で話せる時間を作る等の工夫をしていきます。
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・記録はしっかりなされており、つながっていると思います。 ・毎日の業務日誌や個別の記録で行っている。 ・詳しく記録を取っていない。 ・変わらない場合は特に活動やそれに対する反応のみ記録。 	毎日の業務日誌や個別記録を記入することで記録は出来ています。しかし、記録スペースが少ないため、詳しい記録は行うことが出来ていません。今後書類の様式について検討していきます。
	18	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が把握していく必要がある。 ・定期的にはできていない。 ・計画の見直しが必要な時は行う。 	定期的にはできていないため、今後徹底していきます。また、その内容についてスタッフ全員が把握できるよう工夫していきます。

関係機関や保護者との連携	19	子どもの状態に基づいて作成された個別支援計画に沿って様々な活動を組み合わせて支援を行っているか	50%	50%	0%		今後も各職種間で連携を取りながら、様々な種類の活動を組み合わせて提供できるように努めていきます。
	20	学校との情報共有(年間行事・行事予定等の連絡、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とは密に情報交換されていると思います。自分自身が学校への送迎経験も少ないため、明確には把握できていません。 ・月間行事や送迎時間は事前JFAXIにて送付され、把握している。 ・送迎時に学校の先生と連絡を取り合うようにしている。 ・FAXやTELでのやり取りをしている。 ・行事の連絡を書面で受けたり、参加可能なものには参加させてもらったりしている。下校時には体調等の確認を行っている。 ・送迎時にその日の1日の様子、大切な申し送り事項の確認を行っている。 	最低限必要な情報は送迎時に確認を行っています。また、必要に応じて電話やファックスなどで連絡を取りながら、しっかりと情報共有を行っていきたく思います。
	21	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	29%	57%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援を行っていない。 ・可能なケースは行っている。 ・医療ケアや重心の子が多いので、積極的に連携を行っている。 	医療的ケア児や重症心身障がいのある子どもが多いので、積極的に連携を取っています。
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	57%	43%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医や通院している病院、医師などの確認は必ず行うようにしている。 ・担当医は聞いている。 ・主治医や関係機関とカンファレンスを行ったり、連携を取り、情報交換を行っている。 	主治医やかかりつけの医療機関等の確認を行い、必要に応じて関係機関を交えてカンファレンスや情報交換を行っています。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・実例が少ないが今後そのような場合があった際には細かく情報提供を行うようにする。 ・実例なし。 ・引き続き、生活介護で利用されるケースが多いので、学校との情報確認のみ行っている。 ・実例が少ないので、今後そういう場合はしっかりと情報提供する必要があります。 ・卒業前に学校、ご家族、事業所等の支援してきたところや、これから支援に関わっていく事業所等で担当者会議を行い、しっかりと情報交換を行う。 	当事業所が児童発達支援と放課後等デイサービス、生活介護の多機能なため、在学中に放課後等デイサービスを利用し、卒業後に引き続き生活介護を利用される方が多いため、一貫した支援を行っています。しかし、今後他事業所を新しく利用するなどの事例があった際には、必要に応じてしっかりと対応していきたいと思っています。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	25	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいの有無に関わらず、様々な方達と活動する機会があるか	0%	22%	78%	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣にそのような施設が少なく、機会はない。 ・今後取り入れられるなら取り入れたい。 ・近隣にクラブなどなく、時間や感染などの問題もあり、難しい。 ・今のところないが、機会を見つけて行ってきたい。 ・今のところないが、今後積極的に機会を見つけて行ってきたい。 	近隣にそのような施設がなく、機会が少ないが、今後子どもたちやご家族からの要望があれば検討していきたいと思っています。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	44%	56%		機会があれば今後積極的に参加していきたいと思っています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	44%	56%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に必ずその日の状況をしっかりと伝えられるようにしている。 ・利用日の様子を必ず話すかノートに書くようにしている。 ・送迎の時のみコミュニケーションが取れる状態なので、希望するご家族のみでもカンファレンスという形をとってOZに来所してもらっています。 	送迎時にその日の状況をしっかりと伝えることと連絡帳を記入することで情報交換を行っています。また、個別支援計画においても課題やそれについての支援内容を記載し、理解していただいています。
関係機関や保護者	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末にご家族面談を行い、家庭での様子やデイへの要望や対応について相談を受けたり、情報交換を行っている。 	現在はできていないので、今後家族支援プログラムへの理解を深め、必要に応じて支援を行っていきたくと思っています。

との連携 関係機関 や保護者 との連携	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	50%	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が説明できるように熟知しておく必要がある。 ・管理者が中心となり、行っている。 ・利用契約時にご家族に分かりやすく説明しているつもりだが、ご家族の方に理解が不十分。 	契約時に分かりやすく説明しているつもりだが、内容が複雑なため、説明の仕方を見直し、スタッフ全員が分かりやすく丁寧に説明できるよう努めています。
保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった場合にはスタッフ間で共有し、支援するよう努めている。 ・面談をしない年がある。 ・ご家族としっかり話を時間をとるために、電話もしくは来所にてカンファレンスを行う。 ・相談があれば適切に対応し、助言を行っている。 	相談があった際にはスタッフ間で共有し、助言や支援を行うよう努めていますが、さらに詳しく話を聞きたいという要望があれば電話もしくは来所にてカンファレンスを行っています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等でしていきたいができていない。 ・個人情報上の点やデリケートな部分なので交流会は行っていない。 	今後、ご家族からの要望を踏まえ検討していきたいと思えます。
保護者への説明責任等	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、要望等あればすぐに対応している。 ・必要に応じて子どもやご家族の方の申し入れに対し、迅速かつ適切、丁寧にに対応している。 	子どもやご家族の方からの相談や要望などがあれば、その内容に応じて迅速かつ適切に対応しています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	57%	43%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月作成しているものの、遅れてしまう場合などもあるため、工夫していく。 ・OZだよりが止まっている。 ・毎月のお便りを個別に出している。 ・今現在、会報が遅くなっているが、毎月会報発行。デイでの様子は会報や連絡帳、送迎時に様子をお知らせしていた。 	現在は個別のOZだよりの配布が遅れているが、必要に応じて活動の概要や行事の予定などはお手紙を出すなどして情報を発信しています。また、今後は定期的にOZだよりを配布できるように、検討していきます。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・注意されていると思います。 ・記載されたものは外に持ち出さない。知り得た情報は他事業所とのカンファレンス以外話さない等徹底している。 	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のは分かりやすく、内容もしっかり伝えるよう話しています。 ・ご家族の意見や考え方をまずは尊重した上での関わりを行っている。 ・情報伝達のための配慮をできる限り行っている。 	ご家族の意見や考え方を尊重したうえでの関わりを行うとともに、できるだけ分かりやすく内容もしっかり伝えるよう、配慮しています。
保護者への説明責任等	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	38%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・機会があればそういう機会を持ちたい。 ・写真や作品、活動などの展示会を地域の市民センターにて行った。 ・今のところ機会がないので、行っていない。 	今後、ご家族の意見などを取り入れながら、行ってきたいと思えます。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	29%	57%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の予定は立ててありますが、まだ経験していない。 ・不備もあるので今後整えていきたい。 ・できていない。見直しが必要。 ・職員と利用者での訓練は行っている。マニュアルも作成しているため、感染や緊急時対応の確認をご家族に行っている。 ・マニュアルを作成し、毎月1回想定した避難訓練を行っている。ご家族には避難場所や緊急連絡先を載せたものを配布している。 	各種マニュアルについてしっかりと共有が出来ていなかったため、今後は全職員に周知していきます。また、訓練については災害に関する訓練はしていましたが、感染症等に関する訓練も取り入れていきたいと思えます。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行なっている。 ・毎月1回地震や火災、水害、不審者、緊急時等ご避難訓練を行っている。 	毎月1回、火災や水害、不審者、緊急時等の避難訓練を行っています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で虐待について話す機会を設けている。 ・研修時間が取れない。 ・毎月1回職員会議の時に話し合いを行う。また、虐待防止マニュアルを作成している。 	虐待防止マニュアルを作成し、毎月1回職員会議の時に虐待の事例や虐待防止について話し合う機会を設けている。今後は外部の研修にも積極的に参加をしていきます。
非常時等の対応	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	57%	43%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員で再度周知し、説明ができるよう把握しておく必要がある。 ・本人のパギーではない場合、許可を取っている。 ・ご家族への説明は行っているが、計画に記載しているかは不明。 ・身体拘束について説明は行っている。個別支援計画に記載されていないので、必要時に作成見直しを行う。 	必要に応じて説明を行い、同意書をいただいているが、個別支援計画には記載されていないため、見直しを行う。また、今後スタッフ全員に周知し、説明できるようにしていきます。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、活動内容の設定や食事提供等に注意しているか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもさんの場合は家庭からお弁当持参してもらい、医師の指示による内容のある方は持参してもらっている。 	食物アレルギーのある子どもや医師の指示による内容がある方は家庭から持参していただいています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・同じことが起きないようにしている。 ・ヒヤリハットが出た場合、報告書を作成し、共有を行い、次に同じことのないよう気をつけている。 	